

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2025年1月から3月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2025年1月～3月 ※3月については見込み

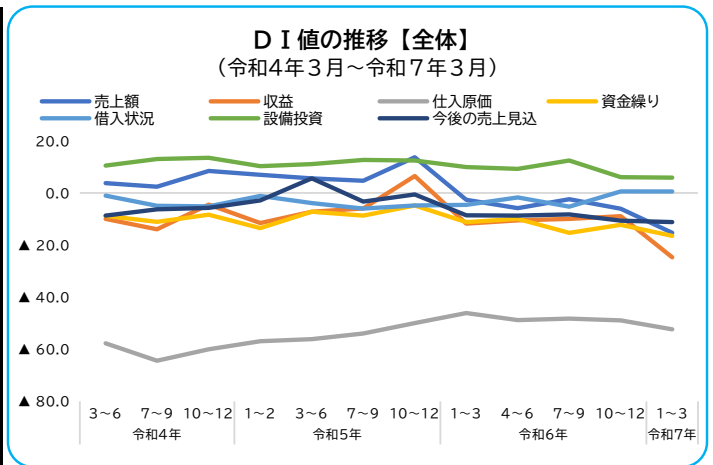
【調査方法】 建設業、小売業、卸売業、製造業、飲食・観光業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数85社、回答率70.8%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)/全体数×100-(④+⑤)/全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

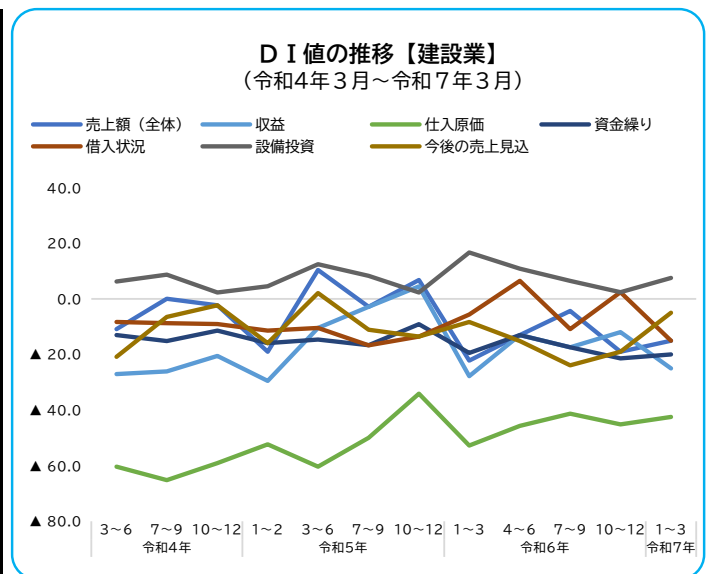
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	2	19	25	29	10	減少	▲15.3
収益	増加	1	14	25	32	13	減少	▲24.7
仕入原価	低下	0	1	11	56	17	上昇	▲52.4
資金繰り	好転	1	2	53	26	3	悪化	▲16.5
借入状況	減少	0	12	65	5	3	増加	0.6
設備投資	増加	2	13	65	3	2	減少	5.9
今後の売上見込	増加	1	18	31	31	4	減少	▲11.2



全産業における2025年1月から3月のDI値は、借入状況、設備投資以外の項目でマイナスとなっており、依然として厳しい状況がうかがえる。特に売上額、収益、仕入原価、資金繰りについては、全ての業種でDI値がマイナスとなっており、前年同期と比較して売上額は▲12.7ポイント、収益は▲12.9ポイント、仕入原価は▲6.3ポイント、資金繰りは▲5.3ポイントの悪化となっている。仕入原価については▲52.4ポイントと、前年同期と比較して▲6.3ポイント悪化しており、収益減少の一因となっている。現在直面している経営上の問題点については、「仕入原価の高騰」が64.7%と13期連続(2022年1月～2月調査以降)で最も多く、次に「経費の高騰」が48.2%となっている。今後、求められる施策や支援策については「原材料・燃料価格の高騰対策」が48.2%と最も多く、次に「補助金・助成金」が43.5%となっている。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	5	6	7	2	減少	▲15.0
公共工事(元請)	増加	0	4	5	3	3	減少	▲16.7
民間工事(元請)	増加	0	1	6	10	1	減少	▲30.6
下請工事	増加	1	2	6	5	3	減少	▲20.6
収益	増加	0	3	7	7	3	減少	▲25.0
仕入原価	低下	0	0	5	13	2	上昇	▲42.5
資金繰り	好転	0	0	14	4	2	悪化	▲20.0
借入状況	減少	0	1	14	3	2	増加	▲15.0
設備投資	増加	1	3	14	2	0	減少	7.5
今後の売上見込	増加	0	5	8	7	0	減少	▲5.0



*公共工事なし5件、民間工事なし2件、下請工事なし3件

建設業のDI値は、設備投資以外の全ての項目でマイナスとなっており、依然として厳しい状況がうかがえる。売上については、前年同期と比較すると民間工事(元請)が▲2.0ポイント、下請工事が▲8.1ポイント減少しているものの、公共工事(元請)が12.5ポイント改善しており、売上額(全体)についても7.2ポイント改善している。しかしながら、借入状況は▲15.0ポイントと前年同期と比較し▲9.4ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では「人手不足」が65.0%(13件)と最も多く、深刻な状況が続いている。求められる施策や支援策については、「補助金・助成金」が65.0%(13件)が最も多く、次に「原材料・燃料価格の高騰対策」が55.0%(11件)となっている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	2	7	7	1	減少	▲20.6
収益	増加	0	1	9	6	1	減少	▲20.6
仕入原価	低下	0	0	2	14	1	上昇	▲47.1
資金繰り	好転	0	0	11	6	0	悪化	▲17.6
借入状況	減少	0	3	14	0	0	増加	8.8
設備投資	増加	0	2	15	0	0	減少	5.9
今後の売上見込	増加	0	3	6	8	0	減少	▲14.7

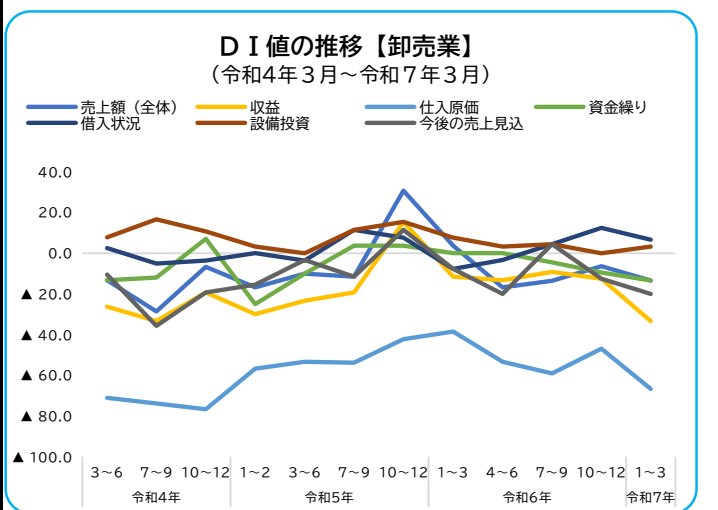
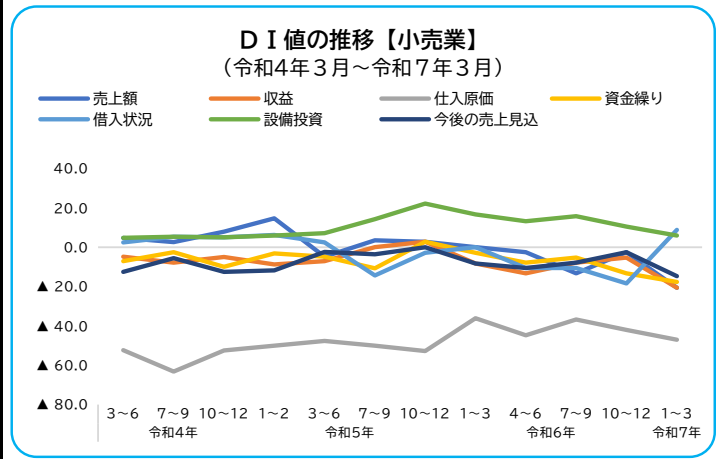
小売業のDI値は、借入状況、設備投資以外の項目でマイナスとなっており、特に売上額は▲20.6ポイントと昨年同期と比較して▲20.6ポイントと大幅に悪化しており、収益についても▲20.6ポイントと昨年同期と比較して▲12.3ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では「売上減少」と「仕入価格の高騰」が52.9%（9件）と最も多く、次に「経費の高騰」が47.1%（8件）となっている。求められる施策や支援策については、「補助金・助成金」が47.1%（8件）が最も多くなっている。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	5	5	1	4	減少	▲13.3
市内売上	増加	0	4	5	3	3	減少	▲16.7
市外売上	増加	0	3	4	3	3	減少	▲23.1
収益	増加	0	3	4	3	5	減少	▲33.3
仕入原価	低下	0	1	0	7	7	上昇	▲66.7
資金繰り	好転	1	1	6	7	0	悪化	▲13.3
借入状況	減少	0	3	11	1	0	増加	6.7
設備投資	増加	0	3	11	0	1	減少	3.3
今後の売上見込	増加	0	3	6	3	3	減少	▲20.0

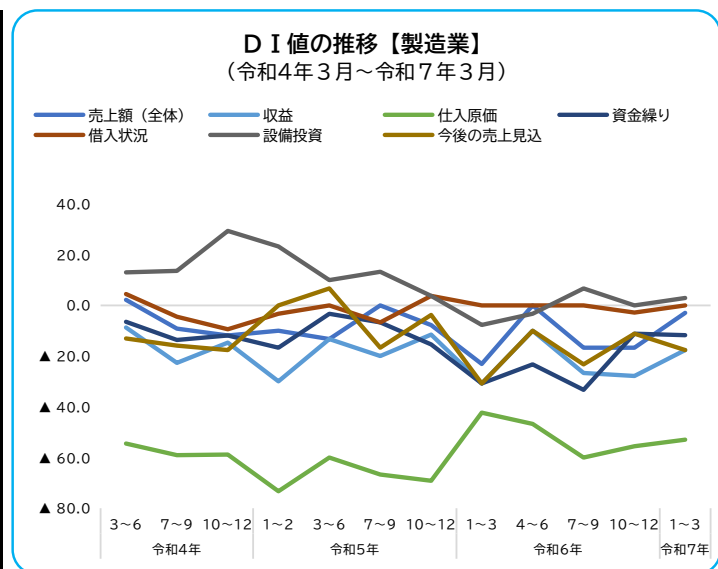
卸売業のDI値は、収益が▲33.3ポイントと昨年同期と比較して▲21.8ポイント、仕入原価が▲66.7ポイントと昨年同期と比較して▲28.2ポイントと大幅に減少しており、売上額（全体）についても▲13.3ポイントと昨年同期と比較して▲17.1ポイントと大幅に悪化している。しかしながら借入状況については6.7ポイントと昨年同期と比較して14.4ポイント改善となっている。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が86.7%（13件）と最も多く、求められる施策や支援策については、「原材料・燃料価格の高騰対策」が46.7%（7件）と最も多くなっている。

製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	2	3	5	6	1	減少	▲2.9
市内売上	増加	1	2	6	6	1	減少	▲12.5
市外売上	増加	2	5	5	1	2	減少	13.3
海外売上	増加	1	1	2	0	0	減少	37.5
収益	増加	0	5	3	7	2	減少	▲17.6
仕入原価	低下	0	0	3	10	4	上昇	▲52.9
資金繰り	好転	0	1	11	5	0	悪化	▲11.8
借入状況	減少	0	3	12	1	1	増加	0.0
設備投資	増加	1	1	14	0	1	減少	2.9
今後の売上見込	増加	1	2	5	8	1	減少	▲17.6

製造業のDI値は、昨年同期と比較して市内売上が4.2ポイント、市外売上が26.9ポイント、海外売上が37.5ポイント改善し、売上額（全体）についても20.2ポイント改善している。しかしながら、仕入原価については▲52.9ポイントと昨年同期と比較して▲10.6ポイント悪化しており、現在直面している経営上の問題点についても「仕入価格の高騰」が76.5%（13件）と最も多い。求められる施策や支援策についても「原材料・燃料価格の高騰対策」が58.8%（10件）が最も多く、次に「補助金・助成金」が47.1%（8件）となっている。

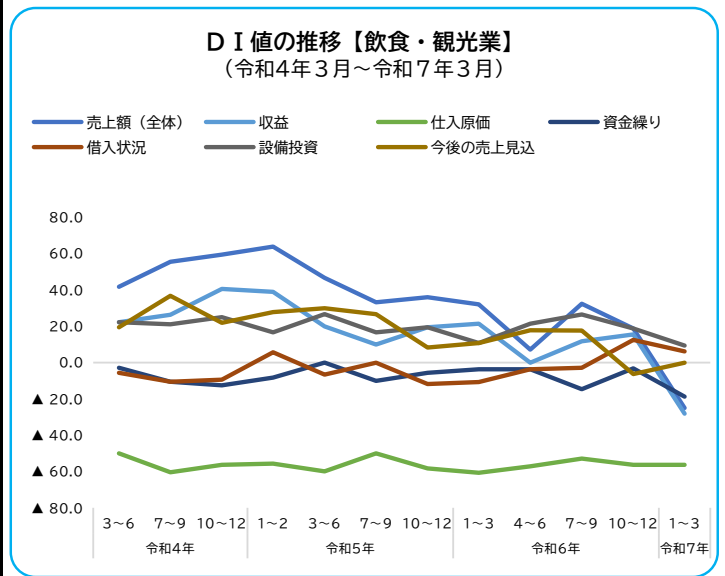


*市外売上なし2件



*市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし13件

飲食・観光業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	4	2	8	2	減少	▲ 25.0
地元売上	増加	0	1	7	5	2	減少	▲ 26.7
日本人観光客売上	増加	0	0	3	11	2	減少	▲ 46.9
インバウンド売上	増加	2	3	3	5	2	減少	▲ 6.7
収益	増加	1	2	2	9	2	減少	▲ 28.1
仕入原価	低下	0	0	1	12	3	上昇	▲ 56.3
資金繰り	好転	0	0	11	4	1	悪化	▲ 18.8
借入状況	減少	0	2	14	0	0	増加	6.3
設備投資	増加	0	4	11	1	0	減少	9.4
今後の売上見込	増加	0	5	6	5	0	減少	0.0

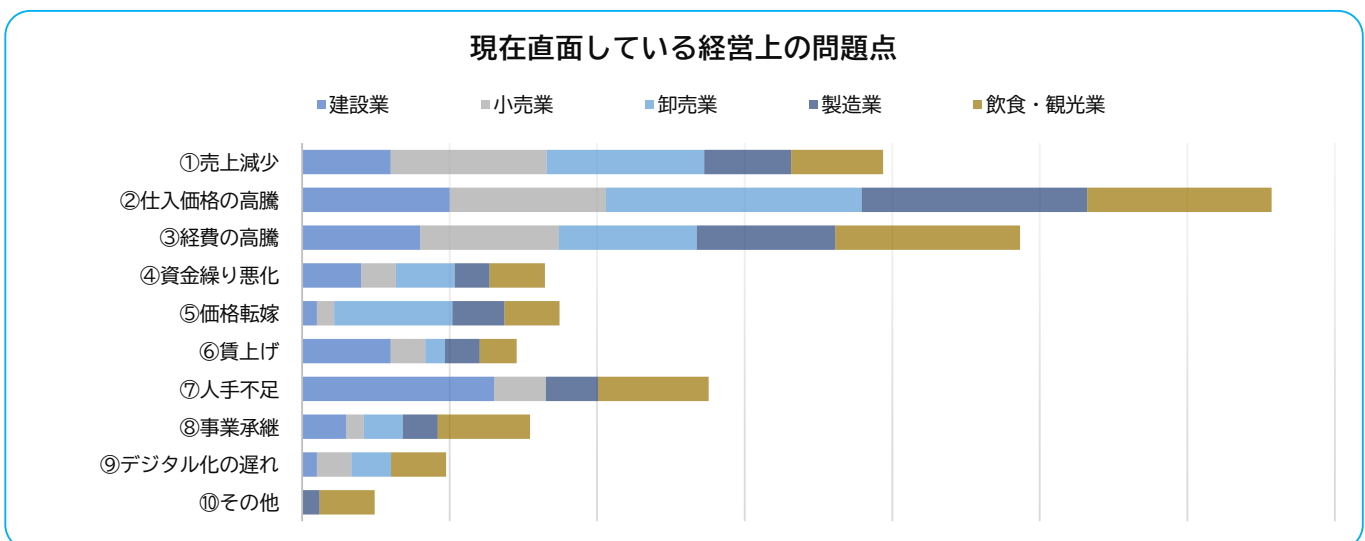


*地元売上なし1件、インバウンド売上なし1件

飲食・観光業のDI値は、降雪等の影響もあり、昨年同期と比較して地元売上が▲34.4ポイント、日本人観光客売上が▲62.3ポイント、インバウンド売上が▲47.6ポイントと大幅に悪化しており、売上額(全体)についても▲57.1ポイントと大幅に悪化している。現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」と「経費の高騰」が62.5%(10件)と最も多い。求められる施策や支援策については、「原材料・燃料価格の高騰対策」と「補助金・助成金」が37.5%(6件)が最も多い。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①売上減少	6	9	8	5	5	33	38.8%
②仕入価格の高騰	10	9	13	13	10	55	64.7%
③経費の高騰	8	8	7	8	10	41	48.2%
④資金繰り悪化	4	2	3	2	3	14	16.5%
⑤価格転嫁	1	1	6	3	3	14	16.5%
⑥賃上げ	6	2	1	2	2	13	15.3%
⑦人手不足	13	3	0	3	6	25	29.4%
⑧事業承継	3	1	2	2	5	13	15.3%
⑨デジタル化の遅れ	1	2	2	0	3	8	9.4%
⑩その他	0	0	0	1	3	4	4.7%

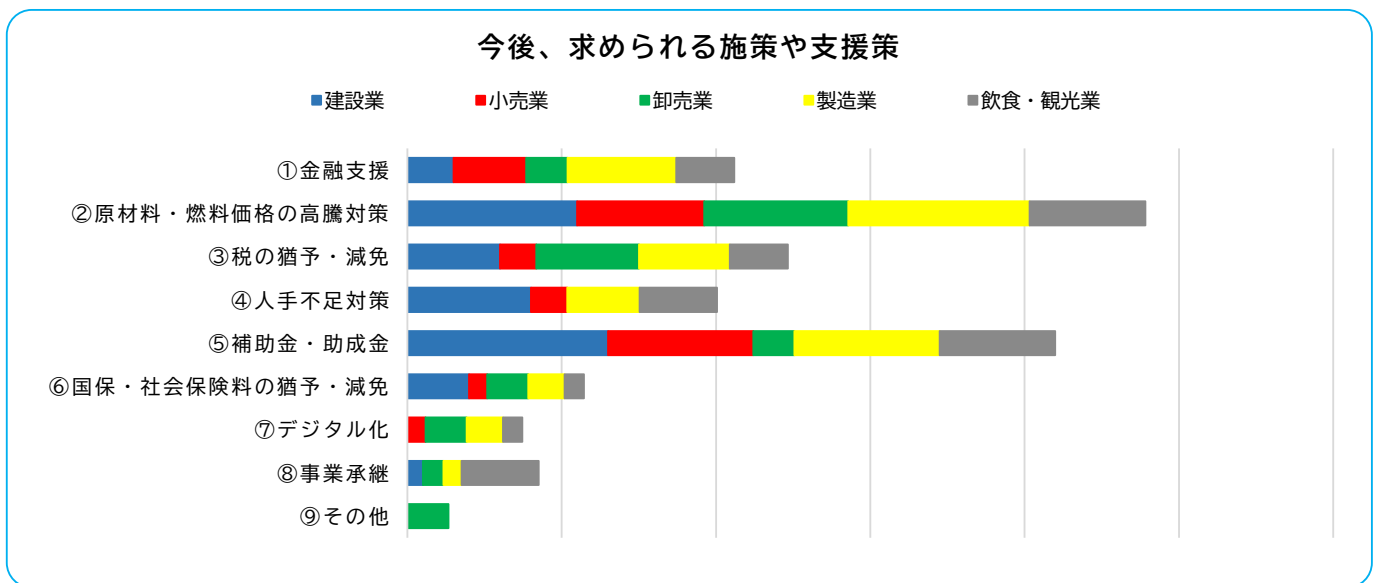


【その他】
《製造業》原材料不足。
《飲食・観光業》天候よっての浮き沈みが多い。空き店舗対策。教育。

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①金融支援	3	4	2	6	3	18	21.2%
②原材料・燃料価格の高騰対策	11	7	7	10	6	41	48.2%
③税の猶予・減免	6	2	5	5	3	21	24.7%
④人手不足対策	8	2	0	4	4	18	21.2%
⑤補助金・助成金	13	8	2	8	6	37	43.5%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	1	2	2	1	10	11.8%
⑦デジタル化	0	1	2	2	1	6	7.1%
⑧事業承継	1	0	1	1	4	7	8.2%
⑨その他	0	0	2	0	0	2	2.4%

今後、求められる施策や支援策



【その他】

《卸売業》 財政出動、減税。政権交代。

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。